

「高齢者の経済生活に関する調査」

令和元年度

内閣府政策統括官（共生社会政策担当）

報告書目次

第1章 調査の目的及び方法等

1. 調査の目的	1
(1) 調査の目的	1
2. 調査の仕様	1
(1) 調査地域	1
(2) 調査対象者	1
(3) 標本数	1
(4) 調査事項	1
(5) 調査方法	1
(6) 調査期間	1
(7) サンプルング方法	2
(8) 有効回収数	2
(9) 調査委託機関	3
(10) 企画分析委員会	3
(11) 本報告書を読む際の留意点	4
3. 調査対象者の基本属性	6
(1) 性別 (F 1)	6
(2) 年齢 (F 2)	6
(3) 未既婚 (事実婚含む) (F 3)	7
(4) 同居者 (F 4)	8
(5) 住居形態 (F 5)	9

第2章 調査結果の概要

1. 生きがい、健康状態、社会的活動に関する事項	12
(1) 生きがいの程度 (Q 1)	12
(2) 健康状態 (Q 2)	14
(3) 社会的な活動 (Q 3)	16
(4) 社会的な活動をしていない理由 (Q 3 - 1)	18
(5) 社会的な活動をしていない主な理由 (Q 3 - 2)	20
2. 仕事に関する事項	22
(1) 何歳まで収入を伴う仕事をしたいか (Q 4)	22
(2) 就業状況 (Q 5)	24
(3) 就業形態 (Q 5 - 1)	26
(4) 仕事の満足度 (Q 5 - 2)	28
(5) 仕事をしている理由 (Q 5 - 3)	30
(6) 今の仕事についての時期 (Q 5 - 4)	32
(7) 今の仕事を見つけた方法 (Q 5 - 5)	34

(8) 今後仕事につきたいか (Q 5 - 6)	36
(9) 現在仕事をしていない理由 (Q 5 - 7)	38
(10) 仕事を探すときの方法 (Q 5 - 8)	40
(11) 仕事につくつもりはない理由 (Q 5 - 9)	42
3. 経済的な暮らし向きに関する事項.....	44
(1) 経済的な暮らし向き (Q 6)	44
(2) 収入の種類 (夫婦合計) (Q 7)	46
(3) 1か月の収入額 (夫婦合計) (Q 8)	48
(4) 預貯金の取り崩し (Q 9)	50
(5) 預貯金の取り崩し額 (Q 9 - 1)	52
(6) 過去1年間の大きな支出項目 (Q10)	54
(7) 子や孫の生活費負担 (Q11)	58
(8) 今後、優先的に使いたい支出項目 (Q12)	60
(9) 経済的な面で不安なこと (Q13)	64
(10) 最も不安なこと (Q13-1)	66
4. 貯蓄、老後の備え等に関する事項.....	68
(1) 貯蓄総額 (Q14)	68
(2) 私的な年金・保険への加入 (Q15)	70
(3) 現在の貯蓄額は備えとして十分か (Q16)	72
(4) これからの生活に必要な貯蓄額 (Q17)	74

第3章 調査結果の解説 (執筆者 50音順に掲載)

・高齢者の「生きがい」の規定要因 (佐藤博樹)	77
・日本の高齢者が感じる経済的なゆとりや心配と社会的活動への参加 (澤岡詩野) ..	81
・高齢者の経済的不安 (重川純子)	85
・貯蓄に不足感をもつ高齢者の特徴について (藤森克彦)	94

第4章 集計結果

調査票 (単純集計結果付)	105
クロス集計表 (基本軸クロス)	117
クロス集計表 (質問間クロス)	156